

Track1：汚部屋で性癖バレ

ブロック①：騒音クレーム↓汚部屋の出会い

(SE：深夜のアパートの廊下、控えめな環境音)

(SE：インターホンを押す音 ピンポーン、ピンポーン)

(SE：ドアがわずかに開いている音 ギィィ…)

(演技：寝起きの、低く掠れた、だるそうな声)

んあ……？

だれ……？

あー、アンタ……隣の部屋の……。

え、何？

ああ、洗濯機の音？

ごめんごめん、回しっぱなしで寝ちゃってたわ。

(SE：衣擦れの音。起き上がる気配)

(演技：少し面白がっているような、投げやりなトーン)

いいじゃん、そんなに怒んなって。

わざわざ中まで入ってきちゃってさ。

あー、そこ。

脱ぎっぱなしの服とか、ゴミとか踏まないように気をつけてね。

片付けるのめんどくさくてさ、放置してたらこんななっちゃった。

なんか……独特な匂いする？

そりゃそうでしょ、これだけ服もパンツも散らかってりゃ。

それに、あたしの生活臭っていうの？

皮脂とか、汗とか……そういうのが混じった熟成された空気。

狭い部屋だと、すぐこっぴう匂いこもるんだよね。

(SE: ベッドから起き上がり、足音。少しベタつくような床の音)

(演技…無防備に、腕を上げて伸びをする)

ふああ……。

あ、シャツの脇、汗染みになってる？

やだ、恥ずかしい……なんて言うと思った？

あたし、そういうの全然気にしないタイプなんだよね。

むしろ、この蒸れた感じが落ち着くっていうか。

(演技…じわじわと聞き手との距離を詰め、覗き込むように)

ねえ。

さっきから鼻、ヒクヒクさせてない？

もしかして、この部屋の匂い……嗅いでんの？

アンタ、意外と変態っぽい顔してるんだ。

(演技…静かに、低音の吐息を混せて)

はあ……。

ふふっ。

いいよ、もっと近くに来てよ。

隣の部屋に、こんな「ちゃんとしてない女」が住んでたなんて、思ってもみなかったでしょ？

今のあたし、ノーブラだし。

「シャツ一枚で、汗だく。

アンタの目の前で、あたしの体臭がたっぷり混じった空気が……。

ねえ、どう？

クラクラしてきちゃった？

ブロック②：パンツ臭ぎの現場を見つける

(SE：ガサガサと布が擦れる音。聞き手が床の洗濯物を手に取る)

(演技：低く、ねっとりとした嘲笑を含んで)

あは……。

ねえ、今なにしてんの？

それ、あたしが昨日まで三日間……。

お風呂サボってずっと履きっぱなしだった、脱ぎたてのパンツだよ？

(演技：一歩近づく気配)

そんなに深く顔を埋めちゃって。

よっぽどいい匂いした？

それとも、こびりついた「あたしのモノ」の匂いで、頭おかしくなっちゃった？

（演技…面白そうに、観察するように）

ふふっ……すごい。

鼻の穴膨らませて、必死に吸い込んで。

アンタ、ただの苦情係かと思ったら……。

とんだ「嗅ぎマゾ」さんだったんだね。

（演技…少し呆れたような、でも興奮を煽るようなトーン）

いいよ、隠さなくて。

股のところ、びっしり蒸れてるでしょ。

一日中歩き回って、汗と……それから、あたしの体液がじっくり染み込んだ、特製の熟成パ
ンツ。

アンタみたいな変態には、最高のご馳走だったかな？

（演技…冷たく、突き放すように誘うように）

はあ……。

そんなに好きなら、もっとしつかり嗅がせてあげようか。

その汚い指で持つてるより、もっといい方法があるんだけど。

ほら、こっちおいで。

そんなに情けない顔して固まってないでさ。

（演技…喉を鳴らして笑う）

あはっ、耳まで真っ赤。

可愛いね。

さっきまでの勢いはどうしたの？

「洗濯機の音がうるさい」なんて、ただの口実だったんじゃない？

本当は、この部屋から漏れてくる「女の匂い」に誘われて……。

我慢できずに、入ってきたんでしょ？

（演技…確信を持って、耳元で囁く）

正直に言いなよ。

この、ズボラな女の体臭を……。

腹いっぱい摂取したくて、たまらなかったんだよね？

（演技…執拗に匂いを意識させる吐息）

はあ……。

ふふっ、いい顔。

もっと、その鼻を汚してあげるから。

覚悟しなよ、変態さん。

ブロック③…顔面にパンツを押し当てられ、性癖を見抜かれる

（演技…楽しげな、いたずらっ子のような低い笑い）

ふふっ……そんなに欲しそうに鼻を動かして。

じゃあ、これ……もっとよく味あわせてあげる。

(演技…不意打ちで押し付けるように)

ほらっ！

(SFX…布が顔に密着する音。布が擦れる音)

(演技…耳元で、甘く、でも逃がさない強さで)

あはは！ いい反応。

顔全体、あたしの脱ぎたてパンツで覆われちゃったね。

苦しい？

それとも、こびりついた「あたしの匂い」で頭が真っ白になってる？

(演技…布越しに聞き手の鼻や口を指でなぞるように)

んゝ……。

この股布のところ、ちょうど鼻に当たってるでしょ。

昨日からずっと履きっぱなしだったから、汗と……それから、中から漏れた体液がたっぷり染み込んで、少しカピカピになってるかも。

(演技…深く、吸い込むように)

はあ……。

ねえ、どんな匂いをする？

蒸れた皮脂の匂い？

それとも、女特有の……ちょっと酸っぱい、濃厚な匂いかな。

(演技…さらに強く押し付けながら)

ぐーって押し付けてあげる。

アンタの吐息でパンツが温まって、余計に匂いが立ち上ってくるでしょ。

はあ……はあ……。

ふふっ。

アンタ、パンツ越しに口パクパクさせて……。

もしかして、布に染みたあたしの汁を、直接味わおうとしてる？

(演技…心底愉快そうに)

ひどい変態さんだね。

でも、嫌いじゃないよ。

こういう「だらしない女」の全部を欲しがる、救いようのないマゾくん。

(演技…パンツを少しずらし、耳元で吐息を漏らす)

ねえ、もっとすごいのが欲しいんでしょ？

パンツの匂いだけで、こんなに硬くなっちゃってさ。

(演技…じゅるり、と涎を飲み込むような音)

じゅぷっ。

(演技…征服欲に満ちたトーン)

いいよ。

この汚部屋で、あたしの体液……ぜんぶ摂取させてあげる。

その代わり、もう逃がしてあげないからね。

Track2：風呂キャンセル臭フエチ責め

ブロック①：風呂キャンセル告白&脇汗臭がせ

(演技…さらにリラックスした、だるそうなトーン)

はあ……。

ねえ、気づいてる？

さつきから部屋の中に漂ってる、このツンとする匂い。

これ、実はパンツだけじゃないんだよね。

(演技…衣擦れの音。Tシャツの袖をまくり上げる)

(演技…いたずらっぽく、誘うように)

正直に言うとき、あたし……もう3日もお風呂入ってないんだ。

いわゆる「風呂キャンセル」ってやつ？

めんどくさくてさ。

そのまま寝て、起きて、また汗かいて。

その熟成された「あたしのエクス」が、今このシャツの下で最高に濃くなってるわけ。

(演技…聞き手の顔を自分の脇に引き寄せる)

ほら、ここ。

くんくんしてみなよ。

(演技…深く、溜まった熱気を吐き出すように)

はあ……。

（演技…ねつとりと、耳元で囁く）

どう？

Tシャツの脇のところ、汗で少し色が変わってるでしょ。

そこから、むわあって……。

アンタが大好きな、生臭くて、蒸れた女の匂いがしてるはずだよ。

（演技…聞き手の反応を愉しんで）

ふふっ！　すごい、鼻をピクピクさせて。

そんなに一生懸命吸い込んでやってさ。

「臭い」って言いながら、顔はすっごく嬉しそうだよ？

（演技…さらに密着させて、脇で顔を挟むように）

ほら、もっと深く。

鼻を脇にギュッて押し付けて。

あたしの体温と、3日分の汗が混じり合った、濃厚なフレーバー。

アンタの肺の中、あたしの匂いだけでいっぱいにしてあげる。

（演技…恍惚とした吐息）

はあ……。

はあ……。

ねえ、これ……普通の男なら逃げ出すレベルだよ？

でもアンタ、瞳孔開いて……。

あたしの「汚れ」を、一滴も残さず飲み込もうとしてるみたい。

（演技…優越感に浸りながら）

いいよ、好きなだけ嗅ぎなよ。

この汚いお姉さんの、一番濃いところ。

アンタのその卑しい鼻で、全部、ぜんぶ受け止めて。

ブロック②…舐めた瞬間、思わず漏れる喘ぎ

（演技…ゾクゾクとした、期待に満ちた声）

あは……。

鼻を押し付けるだけじゃ、物足りなくなっちゃった？

アンタ、さっきから喉鳴らして……。

あたしのこの、汗でじっとり濡れた脇……。

「味わいたい」って顔してるよ。

（演技…挑発的に、脇をさらに曝け出して）

いいよ。

我慢しなくていいから……。

ほら、舌出して……。

この3日分の汗が溜まった、一番濃いところ。

（演技…耳元で、蕩けるような声）

(演技…よだれ垂らし描写)

れろつれろつ、えろつえろつえろつんべえええろ、れろ

(演技…支配的な、とろけた笑顔で)

ふふっ……いいよ。

アンタの唾液と、あたしの汗……。

ぐちゃぐちゃに混ぜて、全部飲み干しちゃいなよ。

ほら、まだこっ……。

拭き取るみたいに、きれーに、隅々まで……。

んっ

(演技…吐息まじりに)

はぁ……はぁ……。

もう……あたしの匂いと味がなきゃ……。

生きていけない体にしてあげるから。

ブロック③…風呂未入マンコの臭い嗅ぎ(ガニ股固定)

(演技…さらに一段階、声のトーンを落として)

はぁ……。

脇だけで、そんなに顔真っ赤にして……。

でも、本当の「メインディッシュ」はまだでしょっ

(SE:ベッドが軋む音。ヒロインが仰向けに寝転ぶ)

ほら、こっちおいで。

あたしの脚の間に、アンタの顔……ぐいーって差し込んで。

（演技…ガニ股に足を開き、聞き手を固定する）

（演技…征服感たっぷりに）

ふふっ。

見てよ、この無防備な格好。

アンタの目の前にあるのは……。

3日間、一回も洗わずに、パンツの中でずっと蒸れ続けてた……。

あたしの一番、汚くて濃厚な場所。

（演技…深く、熱のこもった吐息）

はあ……。

ねえ、もう隠さなくていいよ。

アンタの鼻、もうあたしの秘部のすぐそこにあるんだから。

（演技…じわじわと聞き手の頭を股間に押し付けながら）

くんくんして……。

ストッキングとパンツの隙間に溜まった、熱い熱い「女の毒」……。

思いつきり吸い込んで……。

（演技…恍惚とした、とろけるような喘ぎ）

んっ♪ ああああっ♪

ん、んっ♪はあっ♪

はあっ♪んっ、んっ、うっ、んっ、あっ、あっ、あうっ、あっ、ああっ♪

（演技…ねっとり、実況するように）

あは……すごい……。

アンタが息を吸い込むたびに、あたしの股間が冷やされて……。

でも、またすぐにアンタの熱い吐息で、むわあって……。

こびりついたマンコの匂いが、アンタの脳みそを溶かしていくのがわかる。

（演技…支配的な笑みを浮かべて）

どう？

お風呂キャンセルした女の股間の匂い。

生臭くて、酸っぱくて……。

普通の人間なら顔を背けるような、この「汚れ」が……。

アンタにとっては、どんな香水よりも興奮する匂いなんだよね？

（演技…熱っぽく、命じるように）

はあ……。

もっと深く……鼻の穴が広がるくらい、吸い込んで。

あたしの体液が蒸発した空気で、肺をドロドロに汚しちゃいなよ。

ねえ……マゾくん。

Track3：臭いで勃たせる意地悪責め

ブロック①：勃起を見抜かれ、意地悪手コキ開始

(演技：低く、鼻で笑うような吐息)

ふふっ……。

ねえ、見てよ。

あたしの脱ぎたてパンツと、3日洗ってない股間の匂いだけで……。

ズボンの上が、こんなにテント張っちゃってさ。

アンタ、本当にどうしようもない変態だね。

(SE：衣服の上から硬いモノを握る音)

(演技：軽蔑と愛着が混ざったようなトーン)

んっ……すっごい。

ドクドクいつてる。

こんなに汚い匂いを嗅がされて、気持ちよくなっちゃったんだ？

普通の男なら「臭い」って逃げ出すのに、アンタはこれを「ご馳走」だと思って勃たせてる。

(SE：ズボンのチャックを下ろす音)

(SE：下着をずらし、素手で握る音)

(演技：意地悪く、ゆっくりと動かしながら)

ほら、出してあげたよ。

あは……熱いね。

あたしの指、風呂キャンセルしたせいで少しベタついてるでしょ。

その指で、アンタのこじ……じっくり、ねっとり、じじいてあげる。

(SE：手「キ音 開始」)

(演技：耳元で、湿り気を帯びた囁き)

はあ……。

どう？

洗っていない女の手で弄られる気分は。

爪の間にも、あたしの体臭が染み付いてるんだよ。

アンタの亀頭に、あたしの「汚れ」が直接塗りつけられてる……。

(演技：ピストン速度を少し上げながら)

(SE：手「キ音 普通」)

(演技：喘ぎ声 濃度：かわいめ)

んっ♪ ああああっ♪ ん、んんっ♪ はあっ♪

(演技：執拗に責め立てる)

あはっ……！

ねえ、もっと匂い、嗅ぎたいでしょ？

手でイカせてあげるけど、鼻はお休みさせないよ。

アンタには、あたしの体液を全部吸い込んでもらわなきゃいけないんだから。

(SE: 手「キ音 継続」)

(演技: 支配的な笑い)

はあ……はあ……。

ほら、もっと腰振ってよ。

あたしの汚い手で、ドロドロに溶かしてあげる。

ブロック②: 足を差し出し、足指の臭い嗅ぎ強制

(演技: さらにサディスティックで、とろけたような笑い)

ねえ、手だけでそんなにイキそうになって……。

本当に、あたしの「汚れ」に弱いんだね。

(SE: ヒロインが体勢を変え、足を伸ばす音)

ほら、次はこれ。

あたしの足、アンタの鼻の前に持って行ってあげる。

(演技: 足指を広げて、聞き手の鼻先に押し付ける)

くんくんしてみなよ。

3日間、パンプスの中で蒸れに蒸れた、あたしの足指。

ストッキング越しでも、ツンとする匂いが漏れ出してるでしょ？

(演技: 深く、溜まった熱気を吐き出すように)

はあ……。

(演技: 耳元で、ねっとり実況するように)

ふふっ……いい反応。

指の付け根とか、爪の間とか……。

そこに溜まった「女の子の汗」の匂い、大好きなんですよ？

（演技…さらに執拗に足を押し付けて）

ほら、もっと鼻を押し付けて。

指の間を、アンタの鼻で割るみたいに……。

むわあつて、熟成された酸っぱい匂いが立ち上ってくるでしょ。

（演技…喘ぎ声濃度…かわいいめ）

んっ♪ ああああっ♪

ん、んんっ♪ はあっ♪

はあっ♪ んっ、んっ、うっ、んんっ、あっ、あっ、あうっ、あっ、ああっ♪

（演技…恍惚とした、上気した声）

アンタが必死に嗅ぐから、足の指の間がくすぐりたいよ。

でも、いいよ……。

その卑しい鼻で、あたしの足の汗、全部吸い取って。

（演技…よだれ垂らし描写）

れろろつれろろつ、えろつえろつえろっんべええええろ、れろろ

（演技…支配的なトーンで）

はあ……はあ……。

鼻は足指の匂いでいっぱい。

下はあたしの汚い手で、ぐちゃぐちゃ。

ねえ、もう逃げ場なんてないんだよ？

あたしの全部に、支配されちゃいなよ。

ブロック③…足指舐め＋手コキ再開の同時責め

（演技…さらに熱を帯び、聞き手を支配する恍惚とした声）

あは……すごい。

アンタ、あたしの足指の匂い嗅ぎながら、自分のおちんちん、ビクビク跳ねさせて。

そんなにこの、風呂キャンセルした「熟成臭」が効いちゃった？

（演技…足を顔に押し付けたまま、自らの指を舐める音）

（演技…口内に唾液を溜める描写）

くちゅくちゅ…ぐちゅぐちゅぐちゅ…じゅぷじゅぷじゅぷじゅぷじゅぷじゅぷじゅぷじゅぷじゅぷじゅぷじゅぷ
っ、ぐちゅっ、ぐちゅっ、ぐちゅっ

（演技…ねっとり囁く）

ほら、見て。

アンタが嗅いでる足指……あたしの唾液で、ぐちゃぐちゃに濡らしてあげる。

3日分の足汗と、あたしのよだれが混ざり合って……。

もっと、えぐい匂いになってきたでしょ？

（演技…よだれ垂らし描写）

れろつれろつ、えろつえろつえろつんべえええろ、れろ

(演技…再び手コキを開始する)

(SE:手コキ音 速い開始)

(演技…興奮で声を荒らげながら)

はあ……はあ……！

足の匂いと、この手コキ……どっちが気持ちいい？

アンタの鼻はあたしの足指に埋まって、下はあたしの汚い手でしごかれて。

全身、あたしの「汁」まみれだね。

(演技…ディープキスのような執拗な舐め音描写)

ぺろっ、れろれろっ、じゅっ、じゅぱっじゅぱっんああっ♪

れろつれろろっ、えろつえろつえろっ、えろつえろっ、じゅるるじゅるるじゅじゅっ、じゅ
ちゅるるるうううっ

(演技…征服感に満ちた絶頂前の煽り)

はあ……はあ……！

いいよ、そのまま……あたしの匂いで頭を真っ白にして……。

汚い、だらしないお姉さんに、全部委ねちゃいなよ。

ねえ、もっと……もっとあたしの体液を、その鼻と体で摂取して……！

Track4：足指の裏まで嗅がせて嘲笑足コキ

ブロック①…パンツ再装着&顔面固定プレイ

(演技…楽しげで、支配欲を隠さない声)

ふふっ……もう我慢できないって顔してる。

でも、まだイかせないよ。

アンタには、もっと「ズボラ女の成分」をたっぷり染み込ませてあげなきゃ。

(SE…布を広げる音。勢いよく顔に被せる音)

(演技…聞き手の後頭部を押さえつけながら)

ほら、おかわり！

さっきのパンツ、今度はもつときつく……鼻と口に密着させてあげる。

(演技…布越しに聞き手の顔をぐいぐいと押す)

(演技…耳元で、ねっとり囁く)

んっ……どう？

アンタの熱い鼻息で、パンツの股布がさらに蒸れて……。

閉じ込められた「あたしの匂い」が、逃げ場を失ってアンタの鼻腔を突き刺してるでしょ。

(演技…深く、吸い込むように)

はあ……。

(演技…恍惚とした、上気した声)

あはっ、すごい……。

パンツ越しでも、アンタがハアハアしてるのが伝わってくるよ。

そんなに、この3日履き古した布が愛おしいの？

(演技…さらに足で聞き手の頭を挟み込むように固定する)

いいよ……そのまま、あたしの匂いの檻に閉じ込められてなよ。

アンタみたいな変態マゾには、この「汚れ」こそが最高の酸素なんだよね？

(演技…喘ぎ声濃度…かわいめ)

んっ♪ ああああっ♪

ん、んんっ♪ はあっ♪

はあっ♪ んっ、んっ、うっ、んんっ、あっ、あっ、あうっ、あっ、ああっ♪

(演技…征服感たっぷり)

はあ……はあ……。

視界を塞がれて、鼻にはあたしのマンコ臭……。

アンタの脳みそ、もうドロドロに溶けちゃってるんじゃない？

今、あたしが何をして……全部受け入れるしかないんだよ。

ねえ、楽しみにしてなよ。

これからもっと、すごい「汁」を飲ませてあげるから。

ブロック②…パンツから汗汁を絞って滴下

(演技…低く、ねっとりとした悦びに満ちた声)

あは……ねえ、パンツ越しでもわかるよ。

アンタ、あたしの匂いに当てられて、鼻の下びっしょりになってる。

(演技…衣擦れの音。汗ばんだ体を擦り合わせる音)

(演技…自分の脇や腹の汗を指で拭い、聞き手の顔(パンツ)の上で滴らせる)

(演技…口内に唾液を溜める描写)

くちゅくちゅ…ぐちゅぐちゅぐちゅ…じゅぶじゅぶじゅぶじゅぶじゅぶじゅぶ…じゅぶぶ
っ、ぐちゅっ、ぐちゅっ、ぐちゅっ

(演技…滴る音を意識させるように)

ほら…見て。

あたしの3日分の汗と、よだれ…。

アンタが今被ってるパンツに、一滴ずつ染み込ませてあげる。

じわあ…って、布の色が変わっていくのがわかる？

(演技…よだれ垂らし描写)

れろつれろつ、えろつえろつえろっんべえええろ、れろ

(演技…鼻先に唾液を垂らしながら)

はあ…。

これで、アンタが吸い込む空気は…。

あたしの体液そのものになったね。

(演技…意地悪く笑いながら)

ふふっ！　すごい、喉をゴクゴク鳴らして。

布越しに、あたしの汁を飲み込もうとしてるんだ。

(SE: 足「キ開始」)

(演技: ねっとり、実況するように)

んあ……。

あたしの足指の裏、汗でじっとりしてるでしょ？

そこにアンタの熱いのが挟まって……。

(演技: 口内に唾液を溜める描写)

くちゅくちゅ…ぐちゅぐちゅぐちゅ…じゅぷじゅぷじゅぷじゅぷじゅぷじゅぷじゅぷじゅぷ…じゅぷ
っ、ぐちゅっ、ぐちゅっ、ぐちゅっ

(演技: さらに唾液を足に垂らしながら)

じゅぶっ……。

ほら、よだれも足してあげたから。

アンタの皮と、あたしの足裏の間で、汗と唾液が混ざり合って……。

(演技: ピストン速度を上げる)

(SE: 足「キ速い開始」)

(演技: 嘲笑するように、興奮を煽る)

あはっ！ すっい……！

足の指の間で、アンタの先っぽがビクビク跳ねてる。

鼻は「熟成されたマンコ臭」でいっぱい、下は「汚い足」でじゅかれて。

(演技: よだれ垂らし描写)

れろつれろつ、えろつえろつえろつんべえええろ、れろ

(演技…絶頂を許さないように、執拗に)

はあ……はあ……！

いいよ、そのまま……。

あたしの体液に溺れながら、もっと、もっと狂いなよ。

アンタみたいな嗅ぎマゾには、これが一番のご褒美なんですよ？

(演技…喘ぎ声濃度…激しめ)

んっっ

んっっ……あはあっ！

ねえ、もっと……あたしの匂いと「汁」を、全身で摂取し続けて……！

Tracks：だらしない中出し交尾

ブロック①…交尾宣言から騎乗位挿入へ

(演技…熱っぽく、本能を剥き出しにした声)

はあ……はあ……。

ねえ、もう鼻も下も、あたしの「汁」でびしょびしょだね。

アンタ、こんなに汚い匂いで……。

おちんちん、はち切れそうなくらい硬くなって。

(演技…パンツを顔から剥ぎ取り、聞き手の顔を覗き込む)

あはっ、ひどい顔。

よだれ垂らして、目もとろーんとしちゃって。

もう、あたしがいないとダメな体になっちゃったでしょ？

(演技…跨り、聞き手の亀頭を自分の秘部に擦りつける)

んっ……ああ……。

あたしのここも、3日分の汗と……アンタが嗅ぎまくったせいで、蜜が溢れて止まらないよ。

ねえ、お掃除してよ。

アンタのその硬いの……あたしの中に入れて、全部かき混ぜて……。

(演技…ゆっくりと腰を下ろす)

(SE:ゆっくり挿入)

(演技…喘ぎ声濃度…かわいめ)

んっ♪ ああああっ♪

ん、んんっ♪ はあっ♪

はあっ♪ んっ、んっ、うっ、んんっ、あっ、あっ、あうっ、あっ、ああっ♪

(演技…圧迫感に耐えるような、恍惚とした声)

んんっ……あああ……入った……。

あったかい……アンタの熱いの、奥まで……。

（演技：激しく息を乱しながら、悦びに浸る声）

はあ……はあ……！

ねえ、すぐいくちゆくちゅいつてる……。

あたしの3日分の汗と、マンコの蜜が……アンタのぶつといたので、ぐちゃぐちゃにかき混ぜられて……。

（演技..聞き手の胸板に汗ばんだ体をぴたりと密着させる）

(SH: 衣服が擦れる音。肌が吸い付くような音)

ほら、もつと密着して。

あたしの首筋とか、脇の汗……アンタの体に全部なすりつけてあげる。

（演技…耳元で、湿り気を帯びた喘ぎ）

はあ……っ ♪

どう？ 動くたびに、さつき嗅いだ「あの匂い」がむわあつて……。

アンタの鼻を突いてるでしょ？

(演技:ピストン速度を上げる)

(SM: 騎乗位ピストン速い開始)

（演技…喘ぎ声濃度…激しめ）

んっ ♪ おっ ♪ おっ ♪ おっ ♪

おゝ、
おゝ、
おゝ、
おゝ、
おゝ、
おゝ
おゝ
おゝ
おお
おつ♪

ん
" 
ん
" 
ん
" 
ん
" 

(演技…恍惚とした表情で、聞き手を見下ろして)

あはっ！ すごい……！

アンタ、あたしの匂いに当てられて、目がイっちゃってるよ。

「臭いお姉さんのナカ、最高に気持ちいい」って……顔に書いてある。

(演技…口内に唾液を溜める描写)

くちゅくちゅ…ぐちゅぐちゅぐちゅ…じゅぶじゅぶじゅぶじゅぶじゅぶ…じゅぶ
っ、ぐちゅっ、ぐちゅっ、ぐちゅっ

(演技…よだれを垂らし、聞き手の鎖骨あたりに滴らせながら)

じゅるう……。

ほら、よだれも止まらない……。

汗と、よだれ……。

あたしの全部の「汁」で、アンタをドロドロに溶かしてあげる。

(演技…激しく腰を叩きつけながら)

はぁ……はぁ……！

いいよ、そのまま……あたしの「汚れ」の一部になりなよ。

アンタみたいな嗅ぎマゾには、清潔なセックスなんて似合わない。

この……だらしなくて、臭くて、最高に濃い……。

あたしとの「交尾」に、溺れちゃえ！

(演技…喘ぎ声濃度…激しめ)

んっ♪おっ♪おっ♪おっ♪おっ♪おっ♪おっ♪

ブロック③：中出し許可↓生ぬるい射精描写

(演技：絶頂間近の、理性が飛んだような荒い呼吸)

はあっ……はあっ……！

ねえ、もう限界……？

アンタのそこ、はち切れそうにドクドクいつてる……。

(演技：腰の動きをさらに激しく、叩きつけるように)

(SE：騎乗位・ストーン速い継続)

(演技：喘ぎ声濃度：激しめ)

んっ♪おっ♪おっ♪おっ♪おっ♪

おっ、おっ、おっ、おっ、おっ、おっ、おっ、おっ、おっ、おっ

んっ♪んっ♪んっ♪んっ♪

(演技：耳元で、かすれた声で命令するように)

いいよ……出しなよ。

あたしの、お風呂入ってない……蒸れてドロドロのナカに……。

アンタの汚い種、全部ぶちまけて……。

(演技：恍惚の絶頂)

ああああっ……！ い、イクっ……！

(SE：射精音 4秒)

(演技…支配的な、とろけた囁き)

ねえ、幸せでしょ？

ズボラなお姉さんの「汚れ」と、アンタの「精子」が一つに混ざり合って。

もう、一生……この匂いと感触から、逃げられないね。

Track6：足と尻の臭いで余韻管理

ブロック①…使用済みパンツ再登場&足指嗅がせ直し

(演技…事後の心地よい気だるさと、満足げな吐息)

はあ……はあ……。

アンタ、出し切って真っ白な顔しちゃって。

でも、まだ終わらせてあげないよ。

(SE：クシャッとした布の音。再びパンツを顔に被せる)

ほら、これ……。

さっきアンタが精一杯吸い込んだ、あたしのくっさいパンツ。

今はアンタの吐息と、あたしの汗で、もっと重たく濡れてるでしょ。

(演技…耳元で、低くなっとりと囁く)

ん………。

この、体液が何層にも重なった「汚い匂い」……。

しっかり覚えておきなよ。

ほら、足の匂いまだ嗅ぎたいんでしょ？

（演技…足を顔の横に差し出し、指先を鼻に押し当てる）

（演技…喘ぎ声 濃度…かわいめ）

んっ♪ ああああっ♪

ん、んんっ♪ はあっ♪

（演技…じわじわと足指を動かしながら）

あはっ、足の指の間……。

交尾して汗かいたから、さっきより酸っぱい匂い、強くなってるない？

くんくんして……。

あたしの体から溢れた「汁」が、アンタの脳みそに刻まれていく……。

（演技…支配的な笑い）

ふふっ。

アンタ、パンツ越しに鼻をヒクつかせて……。

もう、この「汚れ」がないと、生きていけない体になっちゃったんだ。

（演技…恍惚とした表情で）

はあ……。

はあ……。

いいよ、そのまま……。

あたしの熟成された匂いの檻の中で、ゆっくり休みなよ。

ブロック②…尻タブプレイ+舐め強制↓タオル扱い

（演技…さらに気だるげで、主導権を完全に握った余裕の声）

はあ……。

おちんちん出した後なのに、まだ鼻の下伸ばして……。

そんなに「あたしの残り香」が名残惜しい？

（SE：ヒロインが体勢を変え、聞き手の顔にお尻を向けて座り直す音）

（演技…お尻を左右に振って、聞き手の鼻に押し付ける）

ほら、ここ。

アンタとの交尾で、さらに汗だくになった……あたしのお尻。

パンツと肌の間で、熱がこもって、すごい匂い立ち上ってるでしょ？

（演技…深く、熱を吐き出すように）

はあ……。

（演技…ねっとりとして、耳元で実況するように）

ふふっ……くんくんして。

三日間洗っていない皮膚と、混ざり合ったアンタの精液……。

全部が蒸発して、アンタの顔にまとわりついてる。

（演技…冷たく、でも慈しむように）

ねえ、ただ嗅ぐだけじゃもったいないよ。

そうやって、あたしに奉仕し続けるのが……。

アンタにとって、一番幸せなことでしょ？

(SE:ヒロインの体を舐める音終了)

ブロック③:「次回」への臭い予告と完全支配セリフ

はあ……。

あはっ、そんな虚ろな目でこっち見て……。

もう、あたしの匂いが鼻に染み付いて、離れないでしょ？

(演技:耳元で、湿り気を帯びた熱い吐息を吹きかける)

ねえ。

次、いつにする？

あたし、また明日から数日間、お風呂キャンセルして……。

アンタの大好きな「熟成した汚れ」……たっぷり溜めておいてあげる。

(演技:突き放すようできて、逃がさない強さで)

ふふっ。

次は、今日よりもっと……酸っぱくて、濃厚な匂いにしてあげる。

脇も、足も、お尻も……。

パンツの中のマンコも、全部、今より汚くして待ってるから。

(演技:喘ぎ声濃度:かわいいめ)

んっ♪ ああああっ♪

ん、んっ♪はあっ♪

(演技…冷徹な支配者のトーンで)

はあ……はあ……。

アンタは、ただその卑しい鼻をヒクつかせて……。

隣の部屋で、あたしの匂いが漏れてくるのを待ってればいいんだよ。

あたしが「おいで」って言ったら、すぐに飛んできて……。

また、あたしの全部を摂取する。

(演技…ディープキスのような執拗な舐め音描写)

ぺろっ、れろれろっ、じゅっ、じゅぱっじゅぱっんあっ♪

れろっれろろっ、えろっえろっえろっ、えろっえろっ、じゅるるじゅるるるじゅじゅっ、じゅちゅるるるるううっ

(演技…最後の、甘く残酷な宣告)

はあ……。

ねえ……マゾくん。

もう、普通の女じゃ満足できない体になっちゃったね。

一生……この汚部屋の、ズボラなお姉さんの……。

「お掃除くん」として、呼んであげる。

(演技…満足げな吐息)

ふふっ……おやすみ。

また、あたしの匂いで……狂わせてあげるからね。